



第6回琵琶中いきいき健康教室 地域から100名超の 参加者

2月26日（土）午後2時、当院5階多目的ホール。滋賀県出身のシンガーソングライター「yoko」によるミニライブが始まりました。手話で歌詞を伝えながらの熱唱。100名を超え、超満員となった会場に感動が響き合い、人と人がつながり合うことのたいせつさをあらためて確かめあうひと時となりました。続いて、当院神経内科片山由理医師（外来担当曜日 毎週水曜日）による「認知症ってどんな病気？」のお話。「認知症自己チェック」では一喜一憂の笑いのため息。参加者からの質問も飛び出し、「認知症」への理解を深める健康教室となりました。そして最後は試食も用意された、当院藤原管理栄養士による「血液サラサラ サバ缶メニュー」と題したお話。話に聞き入り、試食で和気あいあいのフィナーレ。本当にあ



りがとうございました。今当院はこの地域に暮らす人々と、この地域で働かせていただく私たちがともに手をつなぎ、元気な、健やかな町づくりをすすめています。そのために、もっと医療の質を、看護の質を、リハビリの質を、そして病院の質を高めるために日々努めています。そんな思いを込めた今回の「健康教室」。引き続き開催してく予定です。ご支援よろしく願います。

脳神経リハビリテーション科の ご紹介

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

当院は回復期リハビリテーション病棟 60 床と療養病棟 120 床を擁し、リハビリテーションを中心とした入院診療を行っています。脳梗塞、脳出血、くも膜下出血といった脳血管疾患は当院入院患者様の約半分を占め、回復期リハビリテーション病棟においては約 4 割を占めています。脳卒中では約 7 割に手足の麻痺を、約半数に言語障害を、約 4 割に歩行障害をとらない、その後の生活に大きな支障をきたします。麻痺や生活機能動作に関しては基礎動作を訓練する理学療法、応用動作を訓練する作業療法、言語と嚥下（飲み込み）の障害に対しては言語聴覚療法を行います。個々の患者様のニーズに合わせて 3 種類のリハビリのメニューを組み、在宅を目指し 365 日の充実したリハビリを行っています。現在大津市民病院、大津赤十字病院、滋賀医大などの神経内科・脳神経外科急性期病院と連携し、脳卒中発症後 1 週間の亜急性期から 1 カ月を過ぎた慢性期まで、広く受け入れを行っています。増加する脳卒中の亜急性期から慢性期診療に関し診療の向上と厚い信頼を目指し日々奮闘しています。



どうぞよろしく願います。

■ 回復期リハビリテーション病棟

このような患者さんはおられませんか？
急性期病院での積極的な入院対象ではないが・・・琵琶湖中央病院地域連携室にお電話を

《腰椎圧迫骨折を代表とする脊椎骨折》

在宅での生活を送っていた方が、尻もち等の受傷帰転が明らかで、その後の腰痛で ADL が制限された場合